

Ⅲ 数学 正答表並びに採点上の注意 (平成30年度)

問1	(ア)	(イ)	(ウ)
	1	3	4
	(エ)	(オ)	
	2	3	

問2	(ア)	(イ)	(ウ)
	3	1	3
	(エ)	(オ)	(カ)
	2	4	1

問3	(ア)	(イ)
	$\frac{\sqrt{10}}{6}$ cm	$t = \frac{a}{4} + \frac{b}{30}$

問4	(ア)	(イ)	(ウ)
	2	(i)	(ii)
		4	5
			$\triangle AGB : \triangle DFG = 13 : 6$

問5	(ア)	(イ)
	4	$\frac{2}{9}$

問6	(ア)	(イ)	(ウ)
	4	2	$\sqrt{33}$ cm

問7	(ア)
	(i)
	$\widehat{BC}$ に対する円周角は等しい
	(ii)
4点A, F, E, Dは1つの円周上にある	

正答例。

(イ)
$\angle BFE = \boxed{57}^\circ$

問	配点
1	各3点 計15点
2	各4点 計24点
3	各5点 計10点
4	(ア),(ウ)は各5点 (イ)は両方でできて5点 計15点
5	各5点 計10点
6	各5点 計15点
7	(ア)6点 (イ)5点 計11点
計	100点

## 採点上の注意

### 【問題全般について】

- 中間点は、問7(ア)以外には設けないこと。
- 疑問点は複数の採点者及び点検者によって判断し、校内で統一すること。
- 正の数については、+の符号をつけても可とする。
- 多項式の項の順序、積の順序は入れかわっても可とする。
- 有限小数で表される分数は小数で表しても可とする。循環小数になるものを有限小数で表したもののや、「…」を用いて表したものは不可とする。

### 【中間点のない記述問題について】

- 問3(イ)については、通分していても可とする。

### 【中間点のある記述問題について】

- 問7(ア)について
  - ・ (i), (ii)の内容がそれぞれ正しく記述されていれば、正答として6点を与える。  
なお、次の得点項目において中間点を与えるものとする。
    - 得点項目A** (i)について正しく記述されていて、3点を与える。ただし、「 $\widehat{BC}$ 」及び「円周角」について、正答例と同様の趣旨で記述されていれば可とする。
    - 得点項目B** (ii)について正しく記述されていて、3点を与える。ただし、「A, D, E, F」が「1つの円周上にあること」について、正答例と同様の趣旨で記述されていれば可とする。
  - ・ 誤ったことを書き加えている場合は、該当の得点項目について0点とする。
  - ・ 0点となった得点項目については、誤字・脱字の判断はしない。  
したがって、例えば**得点項目A**が0点で、そこに誤字・脱字を含む場合であっても、**得点項目B**の得点から減点はしない。
  - ・ 誤字・脱字の減点を行う場合は、その数にかかわらず、問7(ア)全体を通して1点減点とする。
  - ・ 誤字・脱字がある場合も含めて、中間点は5点、3点、2点となる。